今後の行政運営の具体策について

高橋　督議議員

・質問　次の点について伺いたい。

①公有財産の活用及び具体的処分方法について

②医療費対策と予防医療に対する本市の取り組みについて

③補助金削減等と計画的な生活基盤整備、特に通学道路の踏切部分の対応策について

・答弁（①③企画財政部長、②市民福祉部長）

①市が普通財産として管理している土地は、平成十八年度末で約十万七千㎡あり、このうち未利用地が、約八万五千㎡ある。

そのうち、旧し尿処理場、旧商工会館、旧消防本部の敷地については、建物の撤去等の問題はあるが、早いうちに処分したいと考えている。

その他の土地についても処分または貸し付けなどの活用を積極的に進めていきたい。

②医療費が増大するなか、本市ではその削減策として、市民の健康づくりや生活改善に取り組んでいる。

今後は、若いときからの予防医療の啓発活動として、長期的な保健指導を重点的に行い、医療費の削減に努めていきたい。

③補助金削減については、平成十五年度に行財政改革の一環として取り組み、約八千八百四十万円の削減、十七年度には、五千百万円の削減を行った。現在、集中改革プランに基づき、再度の見直しに着手しているところである。

また、生活基盤の整備は、市民に直結する重要な事業と考えており、計画的な整備ができるような予算配分に努めていきたい。西中、南中付近の踏切については、子どもたちの通行が多く、幅員も狭いため、拡幅すべきと考えるが、多額の費用を必要とすることから、建設事業費全体のなかで検討していきたい。

その他の質問

・新設された企業立地支援課の企業誘致活動と土地取得の進捗状況

・小学校、保育所等の統廃合、社会福祉協議会事務室の移転及び広域行政の具体的な推進策

教育委員会委員の任命に同意

教育委員会委員のうち、関口義明委員の任期が九月三十日をもって満了したため、新たに石井康三氏を任命したいとして、市長から同意を求められました。

市議会では、同氏を適任と認め同意いたしました。

固定資産評価審査委員会委員の選任に同意

固定資産評価審査委員会委員のうち、内田肇委員の任期が九月二十八日をもって満了したため、新たに若林年氏を選任したいとして、市長から同意を求められました。

市議会では、同氏を適任と認め同意いたしました。

選挙管理委員及び補充員の選挙

選挙管理委員及び補充員の任期が、九月二十七日をもって満了となったため、地方自治法の規定に基づき、市議会において選挙が行われました。

その結果、次の方々が当選されました。

▽選挙管理委員

大和敏孝氏　須藤武氏　高田美通氏　小菅正充氏

▽補充員

藤倉勲一氏　高橋道男氏　今井光三郎氏　生艸一男氏

人権擁護委員候補者の推薦に同意

人権擁護委員のうち、水野武委員の任期が九月三十日をもって満了したため、引き続き同氏を推薦したいとして、市長から意見を求められました。

市議会では、同氏を適任と認め同意いたしました。

戸田競艇場

県内十六市で構成する都市競艇組合の収益金の一部は、毎年各市に交付され、市民の皆様の暮らしに役立っています。昨年は五千万円の交付金がありました。

◆開催日◆

日	月	火	水	木	金	土
					11月16日	17
					一	般
18	19	20	21	22	23	24
競	争					
25	26	27	28	29	30	12月1日
				アルファ		
2	3	4	5	6	7	8
クラブ杯				第2回	隼	
9	10	11	12	13	14	15
杯				ボートピア岡部カップ開設6周年記念(~17日)		